

脱炭素社会へ 向けて



2030年ガソリン車の撤廃を宣言
2050年脱炭素社会の実現を宣言

2020



COOL CHOICEの推進

京都議定書の後継となるものであり、途上国を含むすべての主要排出国に温室効果ガス排出削減の努力を求めた。日本は2030年までに2013年度比で26%削減することを目標とした。

SDGsの策定

パリ協定の合意

2015

再生可能エネルギー固定価格買取制度
(FIT法)

再生可能エネルギーで発電した電気について、電力会社が一定期間同じ価格で買い取ることを約束する制度。

2010



「Millennium Development Goals」の略で、ミレニアム開発目標という意味。SDGsの前身であり、特に途上国の開発問題の解決に向けて以下の8の目標が設定された。

2005

先進国の温室効果ガス排出量について、各国ごとに削減目標を設定。日本は2008年～2012年の期間に1990年度比で6%削減することを約束した。

MDGsの策定 2000

- 1 極度の貧困と飢餓の撲滅
- 2 普遍的な初等教育の達成
- 3 ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
- 4 乳幼児死亡率の削減
- 5 妊産婦の健康の改善
- 6 HIV/エイズ、マラリア及びその他の疾病の蔓延防止
- 7 環境の持続可能性の確保
- 8 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進

京都議定書の合意

人為起源による気候変化やその影響、適応策及び緩和策に対して、科学的、技術的、社会経済的な見地から総合的な評価を行うことを目的として設立された組織。

1995

1990

気候変動に関する政府間パネル (IPCC設立)



2050年脱炭素社会の実現に向けて

菅首相は2020年10月26日に行った所信表明演説にて「2050年脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。世界的に気候変動に対する危機感が高まっているなか、日本においても具体的な方針が示されたことで、今後さらなる気候変動対策が進められることが期待されます。

所信表明演説〈抜粋〉

2050年までに温室効果ガス排出を全体としてゼロにする、すなわちカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことをここに宣言いたします



カーボンニュートラルって何？



カーボンニュートラルとは？

「カーボンニュートラル」とは二酸化炭素の排出量をプラスマイナスゼロにすることです。私たちが生活するうえで二酸化炭素の排出量をゼロに抑えることは現実的に難しいため、排出量をできる限り減らす努力をし、どうしても排出されてしまう二酸化炭素は森林の吸収などによって埋め合わせる必要があります。

〈例〉

バイオマスエネルギーの利用

燃料を焼却するときに排出される二酸化炭素を植物の成長過程で吸収された二酸化炭素で埋め合わせる



SDGs (エスディージーズ) とは？

SDGsは「Sustainable Development Goals」の略で「持続可能な開発目標」という意味です。2015年の国連サミットにて採択され、「地球上の誰一人として置き去りにしない」ことを基本理念として、2030年までに世界共通で達成すべき17の目標を掲げています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



なぜSDGsが注目されているのか？

SDGsが策定される前、世界で問題として取り上げられていたのは、途上国の貧困問題などが主でした。しかし、近年では気候変動を含む環境問題など、先進国、途上国を問わず、さまざまな問題が地球レベルで起こっています。SDGsを達成することは、これらの問題を解決し、これからの世界を私たちにとってより良いものとするために必要不可欠であるといえます。

次は環境とSDGsのつながりについてみてみましょう！



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



現在私たちが使用しているエネルギーは、石炭、石油などの化石エネルギーが中心です。しかし、化石エネルギーは資源に限りがあり、また、エネルギーを作り出すときに地球温暖化の原因となる温室効果ガスが発生します。

一方、太陽光や水力、風力などの**再生可能エネルギー**は、持続可能であり、エネルギーを作り出すときに温室効果ガスが発生しません。そのため、クリーンなエネルギーとして世界中で普及が進められています。



安来市では、再生可能エネルギー設備の設置に関する補助制度があります。詳しくはホームページをご確認ください。

| 対象設備 | 補助金額 |
|-----------|-------------------|
| 太陽光発電システム | 1万円/kw (上限4万円) |
| 蓄電池設備 | 設置費用の10万円 |
| 太陽熱利用設備 | 設置費用の1/2 (上限30万円) |

12 つくる責任
つかう責任



ごみ削減のキーワード「3R」

私たちは、日々ものを大量に生産し、消費し、廃棄しています。しかし、このような生活を続ければ、やがて資源はなくなり、ごみは増え続ける一方で。そうならないために、日常生活から**3R**を意識してものを使うことが求められます。

もったいない! 「食品ロス」

食品ロスとは、作りすぎや食べ残しなどによって、まだ食べられるのに捨てられる食品のことです。食品ロスを減らすためには、日常生活から食材を買い過ぎない、使い切る、食べきるなどを心がけることが大切です。



令和2年2月から
「分別の手引き」が
新しくなりました

リデュース
Reduce
||
出さない

リユース
Reuse
||
再使用する

リサイクル
Recycle
||
再利用する

日本の食品ロスは
年間600万t以上!

1人あたりで考えると
毎日茶碗1杯のご飯を
捨てていることに!?



13 気候変動に
具体的な対策を



近年発生している強力な台風や集中豪雨、干ばつなどの異常気象は、地球温暖化が原因であるといわれています。地球温暖化は、私たちの生活から排出される二酸化炭素によって引き起こされるため、今後私たちが快適な生活を続けていくためには、日常生活に支障のない範囲で**二酸化炭素の排出が少ない生活スタイル**に変えていかなければなりません。

安来市では、二酸化炭素の排出削減に向けた以下のような啓発を行っています。

「COOL CHOICE」の促進

「COOL CHOICE」は「賢い選択」という意味で、環境にやさしい製品や行動を選択することです。



環境イラストコンテスト

「COOL CHOICE」をテーマに市内小中学生からイラストを募集しました。



地球温暖化対策実行計画

市民、事業者、行政がそれぞれの役割に応じた温暖化対策を推進することを目的として策定しています。

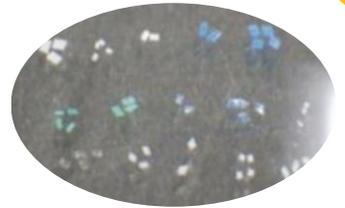


2021年から第2次計画が
スタートします!

14 海の豊かさを 守ろう



近年プラスチックごみによる海洋汚染が世界的な問題となっており、その中でも特に**マイクロプラスチック**と呼ばれる5mm以下の小さなプラスチックが問題視されています。マイクロプラスチックは、その小ささ故に回収ができず、自然に分解されないため、現在も増え続けています。

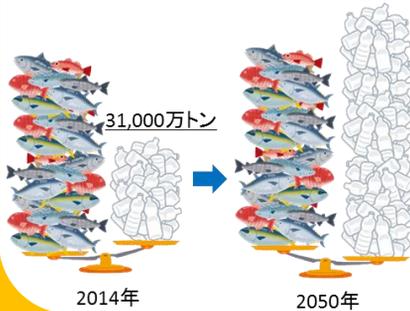


プラスチックごみが劣化して砕けたもの（環境省ホームページより）

プラスチックごみの増加

この状況が続くと、2050年にはプラスチックごみの量が海の魚の量より多くなるとわれています。

112,400万トン



マイクロプラスチックの影響

有害なマイクロプラスチックが、海の生物を通じて私たちの体内に取り込まれる危険があります。



レジ袋有料化スタート

普段何気なく使用しているレジ袋を有料化することで、私たちのライフスタイルにおける使い捨てプラスチックのあり方を考えるきっかけとなりました。

レジ袋有料化
2020年7月1日スタート
レジ袋削減にご協力下さい

環境問題解決の第一歩

Super Market



15 陸の豊かさ 守ろう



森林のはたらき

森林は、地球温暖化の原因である二酸化炭素の吸収、山崩れや洪水などの災害の防止、生物への生息の場の提供など、さまざまな役割を担っています。しかし、現在、森林伐採や異常気象などにより森林は徐々に減少し、豊かな生態系が失われつつあります。



木育を知っていますか？

木育とは、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むことです。私たちは森林のはたらきや木を利用することの大切さを学び、これまで森林が維持してきた豊かな生態系を守っていくためにどのように行動していくべきか考える必要があります。

木に触れたり、木で遊んだり、木で何かを作ったりする

森林のはたらきや木を利用することの大切さを知る

森林や環境を守るために自分たちにできることを考える



17 パートナースHIPで 目標を達成しよう



パートナーシップは、「協力」「協調」「共同」などの意味があり、SDGsの各目標を達成するためにきわめて重要で必要不可欠なものとして位置づけられています。なぜなら、SDGsは世界全体で達成すべき目標であり、向き合うべき課題は世界中のあらゆることが複雑に絡み合っているからです。SDGsはとても壮大な目標に感じるかもしれませんが、私たち一人ひとりが協力することで確実に実現に近づきます。

